

看護師に必要な「豊かな人間性」 「生涯学び続ける力」を育みます

■看護学科4つの特徴

■看護師への最短コース

5年一貫の看護基礎教育の中で、基礎を重点にさらに専門性の高い知識・技術を修得しながら看護師免許取得を目指します。「人を看っていく」準備として自分の健康管理から始まり人体や病気のメカニズム、そして患者の看護へと学びを深め、看護師として人に寄り添うために必要な「豊かな人間性」、高度化する医療に対応していくための「生涯学び続ける力」を育みます。また、看護師免許を取得後、助産師・保健師学校受験資格や大学編入資格も得られるため、更なる目標を見つけ資格取得にチャレンジすることも可能です。

■就職先も内定の病院委託奨学生制度

入学と同時に就職先が内定し奨学金が貸与される制度です。貸与される金額は3つのコースから選択でき、適応条件を満たすことで返済が免除されます。在校生の90%以上がこの制度を利用しており、在学中の勤務もないため勉学と部活動に専念するなど学校生活を安心して有意義に過ごすことができます。(詳しくはP.2にて)

■充実した環境でより効率的な学習を！

5年一貫教育で学ぶことは多く、教科書の量も看護科生の大きな負担となっていました。そこで令和2年度より電子教科書を採用。生徒の自主的な学習に効果を上げることが期待できます。また、現場に繋がる経験を培うため様々な状況が設定可能な機材を導入したシミュレーション教育にも取り組んでいます。

●電子教科書導入！

令和2年度より電子教科書を導入しました。看護基礎教育でもアクティブ・ラーニングが取り入れられており、そのひとつの反転授業に電子教科書の教育動画を活用して、生徒の自主的な学習に効果を上げる事が期待できます。また、従来の専門教科書はおよそ84冊もありそれを持参する労力も大幅に軽減されます。



●視覚教材を使った授業

視覚メディア機器を利用した授業を積極的に実施しています。看護事例を可視化する事でより具体的なイメージを持ち易くなります。また、生徒の理解が進み、主体的に授業に参加できるようになります。



●実践的で充実したシミュレーション教育

医療現場では、あらゆる状況を判断し、適切に実行するための能力が求められます。令和2年度より、状況設定シミュレータ「scenario(シナリオ)」を導入し臨地実習前演習や医療現場での対応力に繋げる教育にも力を入れています。



■勉学と部活動の「二刀流」を応援します！

本校では勉学と部活動(高校課程まで)の両立を推奨しています。部活動や学校行事に積極的に参加することは、看護職に必要な協調性や礼儀、豊かな人間性に繋がっていきます。部活動は生涯スポーツとして卒業後も継続している卒業生もあり、文武両道で培われた精神力、技術、体力を武器に現場で活躍しています。



看護学科：学科長 **岡部 清美** 先生

看護はあらゆる人を対象としています。看護について理解を深めていくためには人間・健康・環境・看護について、その関連性について学ぶことが必要です。また「看護」は、看護師の手と目を使って患者さんを護ります。自分自身の五感を使って患者さんをとらえ、考えてケアを提供し、患者さんが良い方向へ進めるように護っていきます。そのためには、まずは気づき、自分の頭で考え、実践できる力が求められます。看護学科では、5年間かけてじっくりと看護を学び、患者さんのために行動できる豊かな感性を持った看護師を育成します。



動画でチェック！
看護学科



看護学科生5年間の歩み



令和6年度
国家試験合格率
95%
合格者数52名

スポーツの経験を
看護に活かす！



看護師を目指す
男子必見！



① 高校課程 学習概要



看護学科では高校1年生より、普通教科に加え、看護師になる為の様々な基礎・専門分野の看護学を学習します。『人を看っていく』ために必要な人体の構造や病気のメカニズムを学び病気や怪我をされた患者様の看護に結びつけて行くための基本的な知識・技術・態度を身に付けていきます。授業形式は講義や技術演習があり、学年が上がるほど専門的な授業が増えていきます。また、施設で行われる臨地実習に向けて、事前学習をし、準備をしています。

③ 戴帽式(高校2年生 7月)



戴帽式は初々しくも凛とした白衣姿に感動させられます。ナイチンゲールの灯した命を守る灯りで会場全体を包むキャンドルサービスは静寂の中、看護師になる為の決意を胸に刻みます。そしてナイチンゲールの意志を引き継いでいきます。

⑥ 修了式(高校3年生 1月)



5年一貫教育の看護学科では、高校課程3年間を修了し、「高校課程修了証書授与式」となります。ここで高校生活3年間の学びを終え、専攻科に進級します。看護師を目指す者としての自覚と決意を強くする節目式です。

⑦ 専攻科課程 学習概要



専攻科に進級すると、より専門性の高い授業が始まります。『成人』『老年』『小児』『母性』『精神』領域について、対象の特徴や疾患、看護について学んでいく専門分野、5年間の知識・技術を統合し臨床現場での実践能力に繋げる統合分野として看護技術演習、在宅看護、医療安全や災害看護についても学んでいきます。

⑨ 強化合宿(専攻科2年生 秋頃)



専攻科2年生の秋には、看護師国家試験対策強化合宿があります。グループで協力して学習に取り組み、2日間を通して合格への気持ちを高めています。

⑪ 国家試験(専攻科2年生 2月)



実習が終われば、国家試験に向けての取り組みを毎日行います。この5年間で学んだ事すべてを出し切る期間です。5年間を乗り越えてきた仲間と共に看護師になるという夢を現実にするために全員で頑張ります。絶対合格!!

② 高齢者疑似体験(高校2年生)



老年看護学実習の準備として高校2年生で外部講師を招き、高齢者疑似体験を行っています。実際に体験することで高齢者の身体や気持ちを考える機会になっています。

④ 看護技術競技会(高校1～3年生 代表)



高知県高等学校技術競技会(看護の部)が、毎年開催されています。同じ看護の道を目指す他校の仲間同士が、互いに切磋琢磨しながら日頃の学習の成果を競い合います。

⑤ 臨地実習(高校3年生 9月～)



高校1年生から施設での見学実習(基礎看護学・老年看護学)を行います。高校3年生では(基礎看護学・成人看護学)実際に病院で入院されている患者様を受け持ち、体温、血圧測定などを実施したり身の回りの援助をさせていただきます。学校で学んできた知識を基に体験をする事で患者様の気持ちに寄り添いながら個別性に応じた看護ケアを学んでいきます。

⑧ 臨地実習(専攻科1年生 5～7月)



専攻科1年生では、専門領域の実習(成人看護学・老年看護学・小児看護学)がスタートします。実践的な知識・技術を学んでいながら、専門分野を深める事により看護師になる夢に大きく一歩近づきます。

⑩ ケーススタディ(専攻科2年生 11月)



臨地実習の集大成ともいえるケーススタディ発表会を校内で行います。実際に受け持ちの患者様に行った看護を振り返り、自己の看護観を深めています。

⑫ 修了式(専攻科2年生 2月)



5年間の学び舎からいよいよ巣立っていく日がやってきました。中央高校でのたくさんの思い出に「感動」そして「感謝」しながら、一人ひとりの笑顔がまぶしく輝きます。看護学科全生徒の気持ちが一つになる感動の修了式です。